

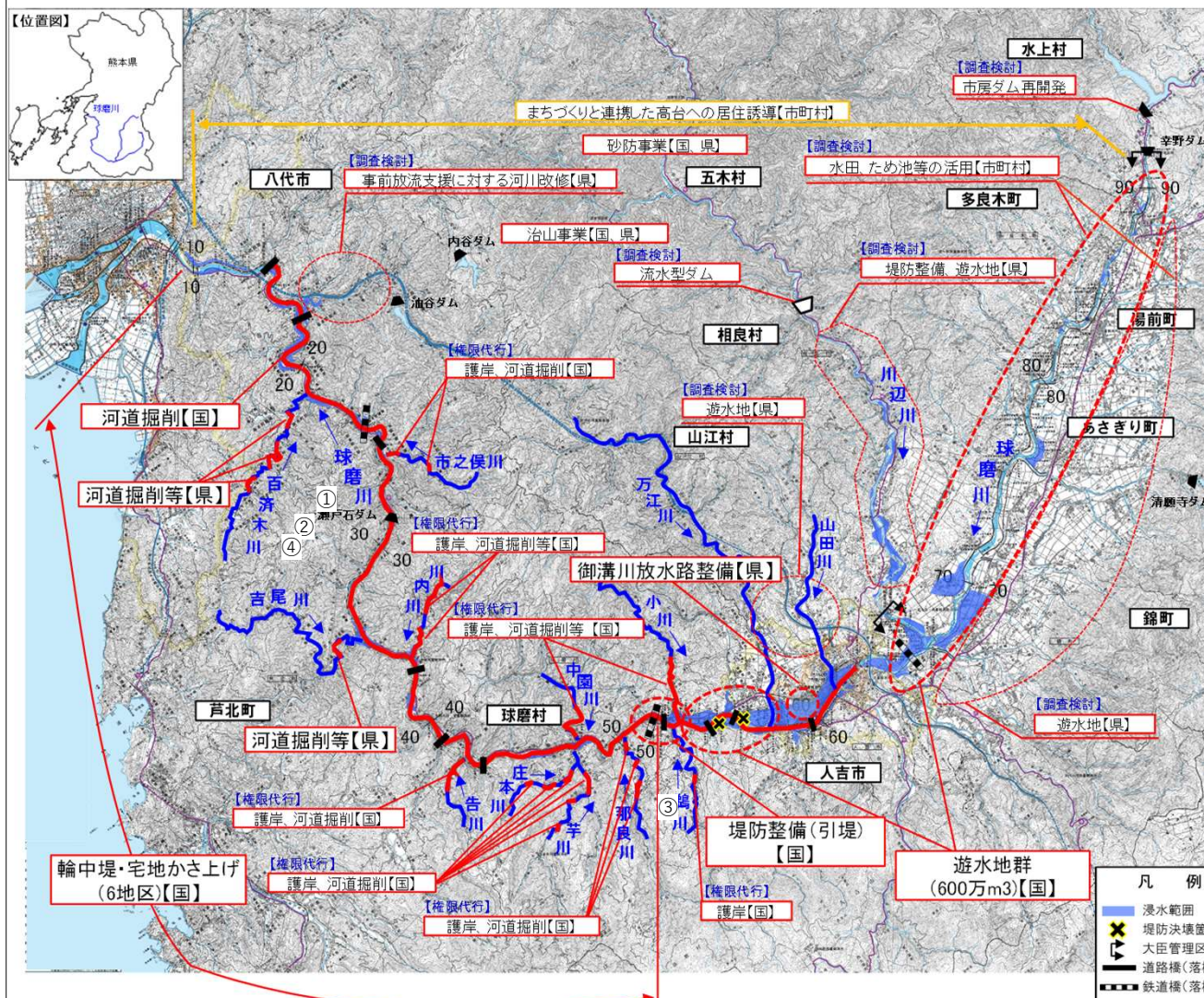
球磨川流域の復旧・復興に向けた取り組み Vol.22



球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況について

- 令和2年7月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、球磨川においては、国、県、市町村等が連携し、被災した箇所で、河道掘削、堤防整備、輪中堤・宅地かさ上げ、遊水地等の取り組みを集中的に実施することにより、令和2年7月豪雨と同規模の洪水に対して、越水による氾濫防止※（人吉市の区間等）、家屋の浸水防止※（中流部）など、流域における浸水被害の軽減を図る。

※従来から検討してきた貯留型ダム並びに再開発後の市房ダムによる洪水調節の効果を含む



【ハード対策の進捗状況】 令和4年5月末時点

- ①河道掘削
令和3年出水期まで：約70万m3掘削完了
令和3年出水期以降：約99万m3掘削完了、引き続き推進を図る

- ②輪中堤・宅地かさ上げ（6地区）
地元協議中、測量実施中、地質調査実施中、用地調査中

- ③引堤（延長約600m）
地元協議中、用地調査実施中

- ④遊水地（調節容量約600万m3）
地元協議中

○災害復旧（堤防決壊を含む）

本復旧完了 24箇所	実施中 7箇所
0%	77.4% 100%

○災害復旧（権限代行）

本復旧完了 129箇所	実施中 11箇所
0%	92.1% 100%

施工状況（八代市）



施工状況（人吉市）



球磨川水系緊急治水対策プロジェクトについて
八代河川国道事務所HPで進捗状況を公表中▶



球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.22



河道掘削の進捗状況について

- 球磨川河道内の掘削を行っており、令和4年5月末現在約169万m³を撤去。
- 引き続き、堆積土砂の掘削を推進。

令和4年5月末時点
実施中箇所



球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.22



護岸等の災害復旧状況について

- 護岸等の被災箇所のうち、令和4年5月末現在22箇所の本復旧が完了。
- 残りの7箇所（高水敷の被災等）については、令和4年出水期までに完了予定。

【位置図】



【被災状況】



【復旧状況】



【被災状況】



【復旧完了】

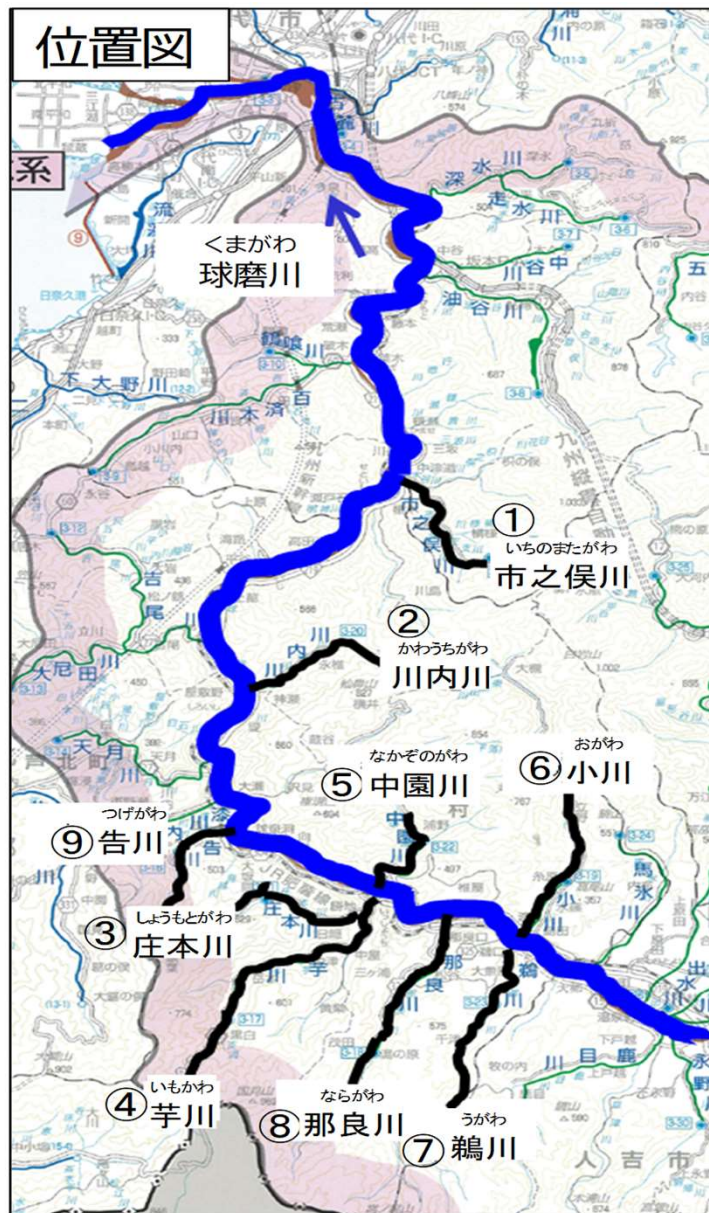


球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.22



護岸被災等の復旧について（権限代行区間）

- 権限代行9河川については、令和3年5月末までに約20万 m^3 の土砂掘削を完了。
- 護岸等の被災施設の復旧については、約140箇所の全箇所に着手し、令和4年出水期までに完了予定



【施工前状況】



【施工後状況】



【施工完了】

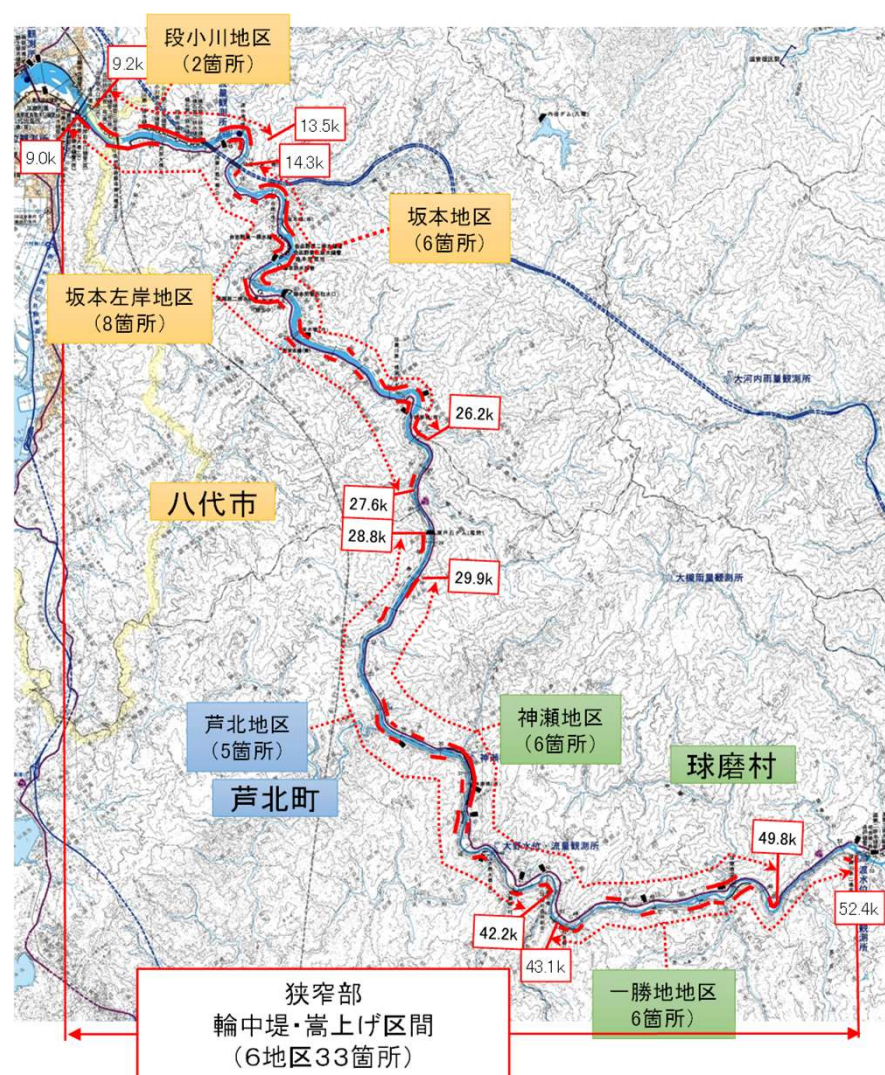


球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.22



輪中堤・宅地かさ上げの進捗状況について

- 輪中堤・宅地かさ上げについて、県及び関係市町村と連携を図ったうえで対象となる各地区で事業説明会を令和3年3月から順次開催し、地域との合意形成に努めている（3市町村 計62回開催 ※5月末時点）。
- 現在、設計・検討を進めるとともに、用地測量等を実施中



対象地区（令和4年2月末時点）

八代市：3地区16箇所

芦北町：1地区5箇所

球磨村：2地区12箇所

計：6地区33箇所

かさ上げ高さの表示（R4.2.5）
【球磨村神瀬地区】

用地調査の状況【芦北町白石地区】



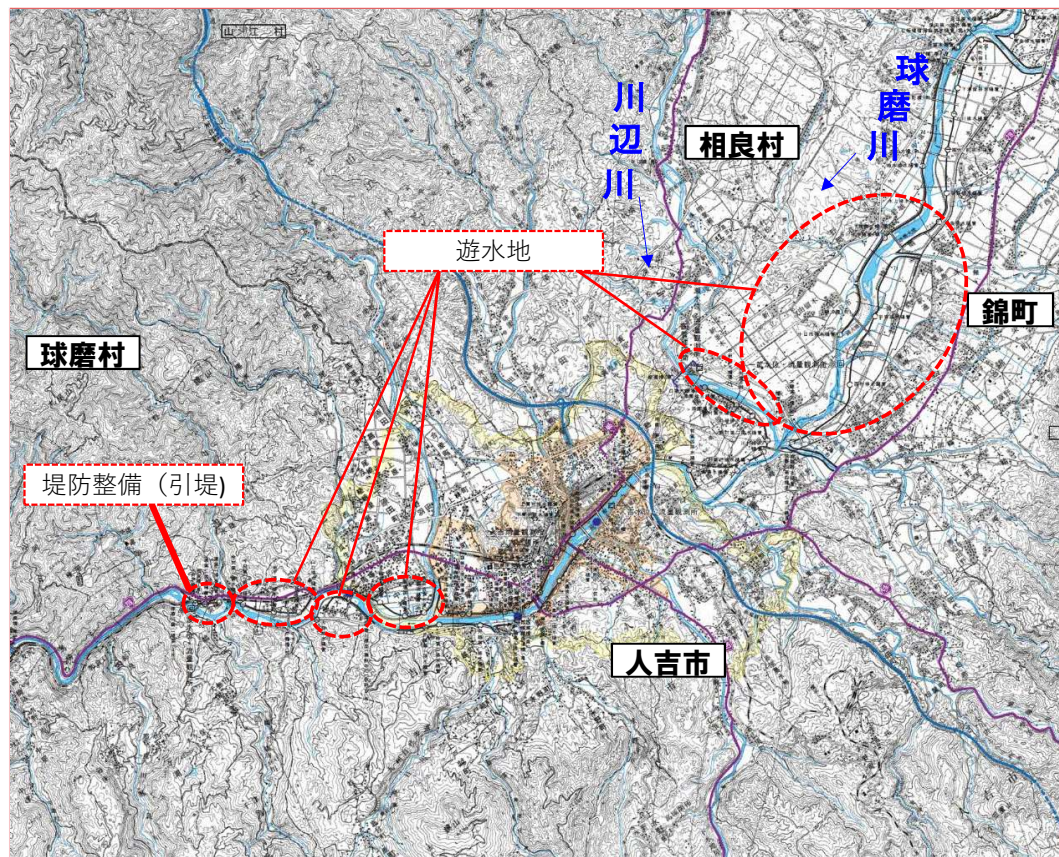
※地図上の範囲は測量等のおおまかな計画範囲を示す

球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.22



引堤・遊水地の進捗状況について

- 引堤・遊水地について、県及び関係市町村と連携を図ったうえで対象となる各地区で事業説明会を令和3年2月から順次開催。
(4市町村 計27回開催 ※5月末時点)
- 事業説明会にて事業説明及び現地立ち入りの説明を行ったうえで、令和3年4月から現地調査（測量等）を行い、現在、用地測量、地質調査を実施中。
- また、復興・再生に向けた各地区のまちづくり懇談会等に参加し、地元との合意形成に努めている。



令和4年3月～4月の説明会等実施状況

事業説明会(R4.3.21)
【球磨村渡地区】事業説明会(R4.3.11)
【人吉市中神地区】

地質調査の状況【錦町】



用地調査の状況【球磨村】



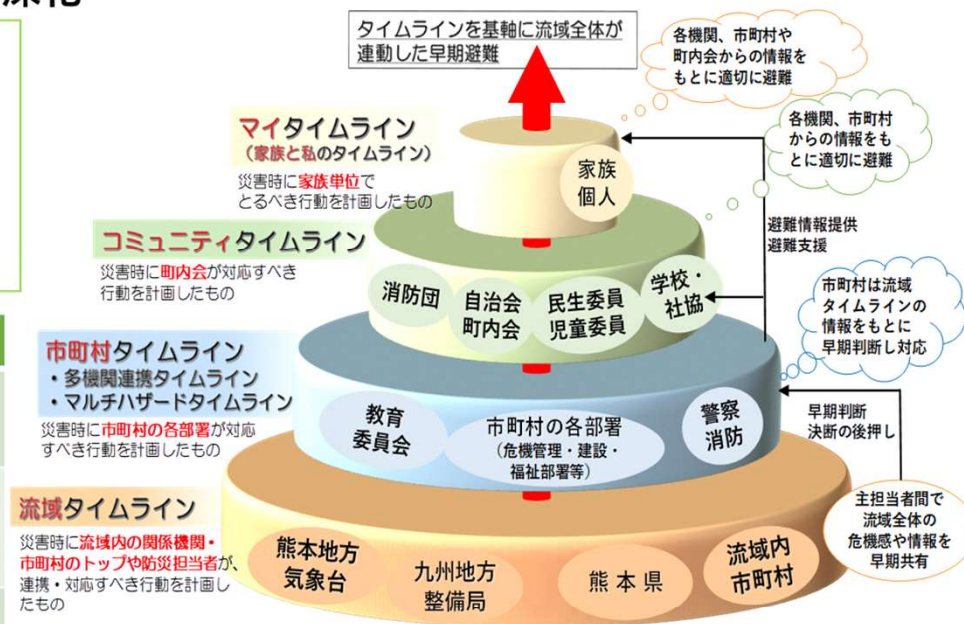
※図上の点線囲み範囲は測量等のおおまかな計画範囲を示す

ソフト対策の取組状況～防災活動の着実な実施・連携体制の構築～

令和2年7月球磨川豪雨災害を踏まえた流域タイムラインの深化

- 球磨川流域では、H27年度以降、右図に示す各種タイムラインを作成することで段階的に防災力向上を図ってきており、令和3年度には、「球磨川流域タイムライン」の暫定版を作成・運用した
- 令和4年度においては、流域タイムラインの更なる深化を目的に検討会等を以下のとおり開催し、球磨川本川・支川管理者等と自治体がさらに連携したタイムラインへと深化させ、球磨川流域(緊急対応)タイムライン【令和4年度試行運用版】を作成した

開催日	会議名	会議の概要
令和4年 5月16日	令和4年度 球磨川流域 タイムライン発足式	・令和4年度の流域タイムライン 防災のキックオフ
同上	令和4年度 第1回球磨 川流域タイムライン検 討会	・災害時のリスクやトリガー情報 等に関する意見交換
令和4年 6月3日	令和4年度 第2回球磨 川流域タイムライン検 討会	・流域タイムライン(案)の内容 に関する意見交換



- 「球磨川流域(緊急対応)タイムライン【令和4年度試行運用版】」の改善(深化)のポイントは以下のとおりであり、令和4年度の出水期には、深化した試行運用版を基軸に災害対応を行い、流域全体で連携しながら防災力向上を図っていくものとする

<球磨川流域(緊急対応)タイムライン【令和4年度試行運用版】の主な改善(深化)のポイント>

- 流域全体において、支川氾濫や土砂災害も含めた各ハザードのトリガー情報を具体的に記載した
- R3年度暫定版は初動(注意報発表段階まで)の計画であったが、R4年度版は災害発生後段階までとし、関係機関の一連の対応行動を共有できる内容とした
- R3年度暫定版は共通的な対応行動の記載のみであったが、R4年度版は、自治体個別への対応や各自治体の避難情報発表のタイミングなども記載した

球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.22



流域治水への理解促進や住民参加のための説明会

令和2年7月豪雨以降、八代河川国道事務所では円滑な事業進捗や住民の方への事業の理解促進に向け、事業に関する住民説明会を随時実施している。

また、球磨川水系緊急治水対策プロジェクトに関連して、各自治体が開催する事業説明会やまちづくり懇談会に積極的に参加することで、地域の意見をお聴きして事業に反映し、円滑な事業進捗につなげている。

更に幅広い年代に球磨川流域への理解、防災意識を醸成して頂くための取り組みとして、流域の学校を対象に河川環境教育・防災教育に取り組んでいる。

各説明会等実施状況（令和4年5月末時点）

■流域治水に関する説明会・懇談会（R3.2月～）

◇開催・参加回数 141回

◇のべ参加人数 4,619名

年度毎の開催状況

令和2年度：計17回 のべ777名参加

令和3年度：計113回 のべ3521名参加

自治体毎内訳

八代市 63回 芦北町 7回

人吉市 25回 球磨村 32回 その他 14回

■河川環境教育・防災教育（R2.7月～）

◇開催回数 17回

◇のべ参加人数 627名

年度毎の開催状況

令和2年度：計4回開催 のべ118名参加

令和3年度：計13回開催 のべ509名参加

令和4年度の開催予定

（防災教育） 令和4年6月17日 八代高校



事業説明会の様子
（球磨村）



環境教育の様子
（ごみパトロール）



防災教育の様子
（フィールドワーク）